

## 第3章 浸水対策の課題

### 3-1 河川整備

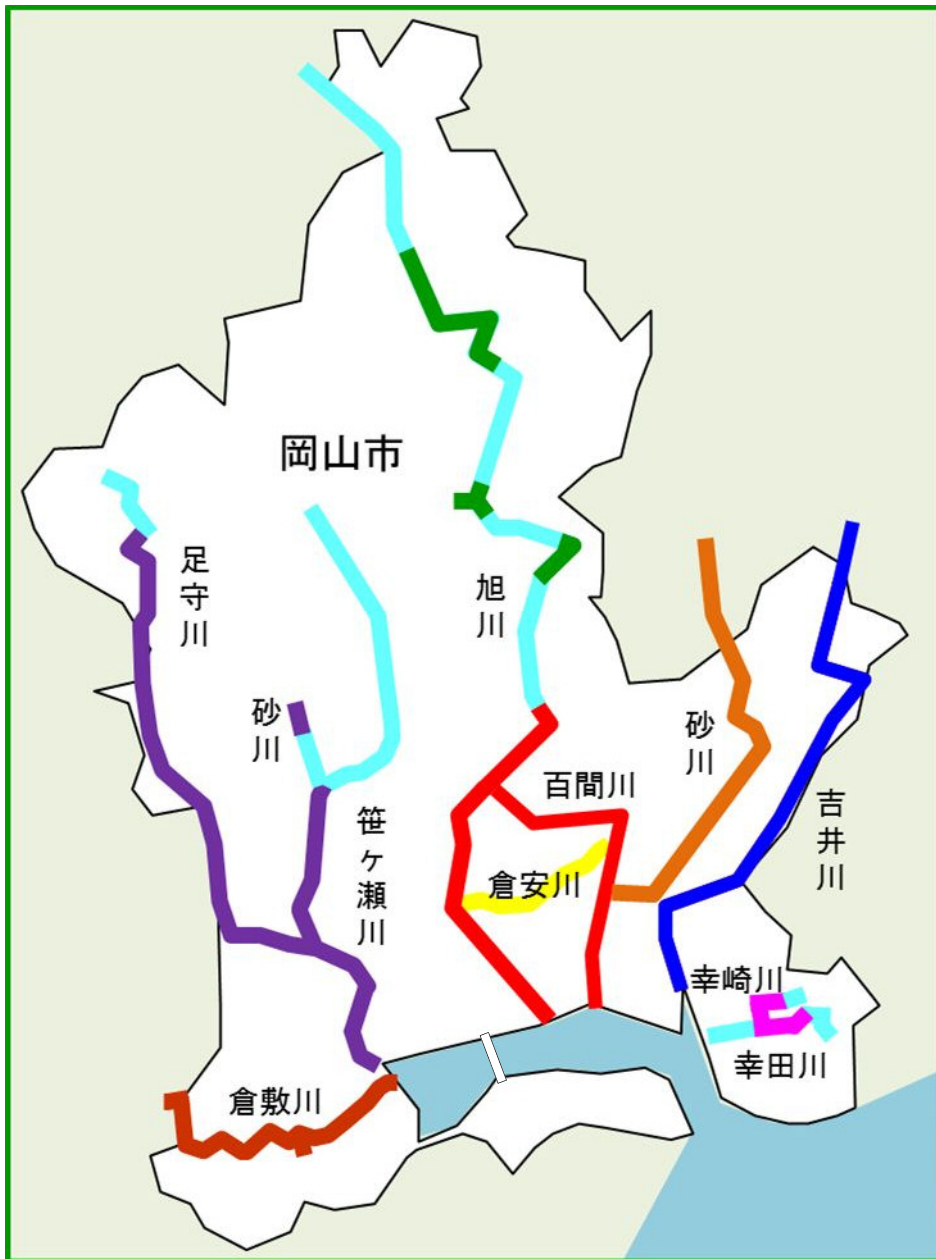
国及び県管理の一級・二級の主要河川は河川整備計画に基づき改修中ですが、整備期間はその計画もおおむね20年から30年と長く、整備効果の発現に時間がかかります。

一方、平成30年7月豪雨により、砂川・旭川（県管理区間）における破堤や排水機場の能力不足により甚大な浸水被害が発生したことから、早急な対策が求められます。また、吉井川や笹ヶ瀬川などの他の河川においても、要整備区間が現に存在していることから、河川整備の推進が望まれます。

市管理の河川は、458河川（延長412km）あり、未改修区間が多数存在しています。現在、改修中の倉安川は、平成元年から全体計画6,550mの改修に着手し整備を進めていますが、進捗は70.5%（平成29年度末、事業費ベース）にとどまっています。

表3-1 岡山市内河川整備計画の状況

	整備計画名	対象河川（市内）	策定機関	計画期間	策定年月
一級河川	旭川水系河川整備計画【国管理区間】	旭川、旭川放水路（百間川）	国土交通省中国地方整備局	おおむね20年	平成25年3月
	吉井川水系河川整備計画【国管理区間】	吉井川	国土交通省中国地方整備局	おおむね30年	平成29年12月
	旭川水系中流ブロック河川整備計画	旭川、宇甘川ほか	岡山県	おおむね20年	平成15年3月
	旭川水系下流ブロック（岡山県管理区間）河川整備計画	旭川、砂川ほか	岡山県	おおむね30年	平成27年3月
	旭川水系倉安川河川整備計画	倉安川、大堀川	岡山市	おおむね20年	平成28年8月
二級河川	笹ヶ瀬川水系河川整備計画	笹ヶ瀬川、足守川ほか	岡山県	おおむね30年	平成20年5月
	倉敷川水系河川整備計画	倉敷川、妹尾川ほか	岡山県	おおむね30年	平成23年4月
	幸崎川・幸田川水系河川整備計画	幸崎川、幸田川ほか	岡山県	おおむね20年	平成15年7月



凡例

- |   |  |
|---|--|
| <span style="color: red;">■</span> 旭川水系河川整備計画【国管理区間】            | <span style="color: yellow;">■</span> 旭川水系倉安川河川整備計画    |
| <span style="color: blue;">■</span> 吉井川水系河川整備計画【国管理区間】          | <span style="color: purple;">■</span> 笹ヶ瀬川水系河川整備計画     |
| <span style="color: orange;">■</span> 旭川水系下流ブロック(岡山県管理区間)河川整備計画 | <span style="color: brown;">■</span> 倉敷川水系河川整備計画       |
| <span style="color: green;">■</span> 旭川水系中流ブロック河川整備計画           | <span style="color: magenta;">■</span> 幸崎川・幸田川水系河川整備計画 |

図3-1 河川整備計画位置図

### 3-2 下水道整備

下水道による浸水対策は、昭和29年に市中心部の雨水排水を担う天瀬ポンプ場を供用開始し、順次、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備を推進してきました。しかし、下水道で雨水対策を計画している都市浸水対策区域4,481haに対して、整備済みは2,567haと、整備率は57.3%にとどまっており、100%の整備を達成するには相当の年月を要する見込みです。

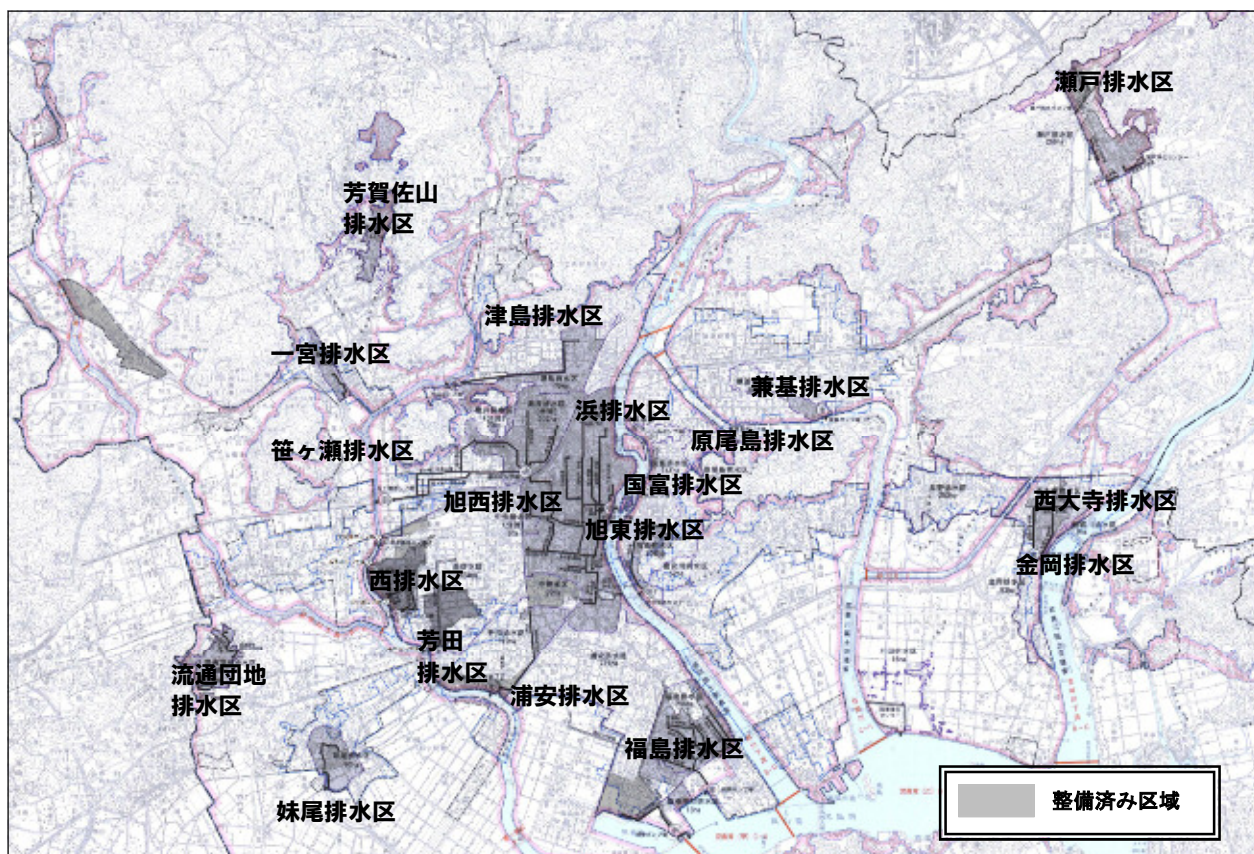


図3-2 下水道による浸水対策の整備状況

### 3-3 排水施設の管理

平成23年の台風12号の被害を受けて、市街地に張り巡らされた農業用水路や児島湖の事前水位調整の取り組みを強化しています。しかし、農業用水の取水を抑制しても、市街地での水位低下までに時間がかかるため、集中豪雨には対応できません。

また、岡山市では、農業用水路に樋門やゲートを設置し、雨水を下水道に取り込んで排水することも多く、農業用水路からの排水や農業用水路の水位調整には、農業関係者の協力が不可欠です。

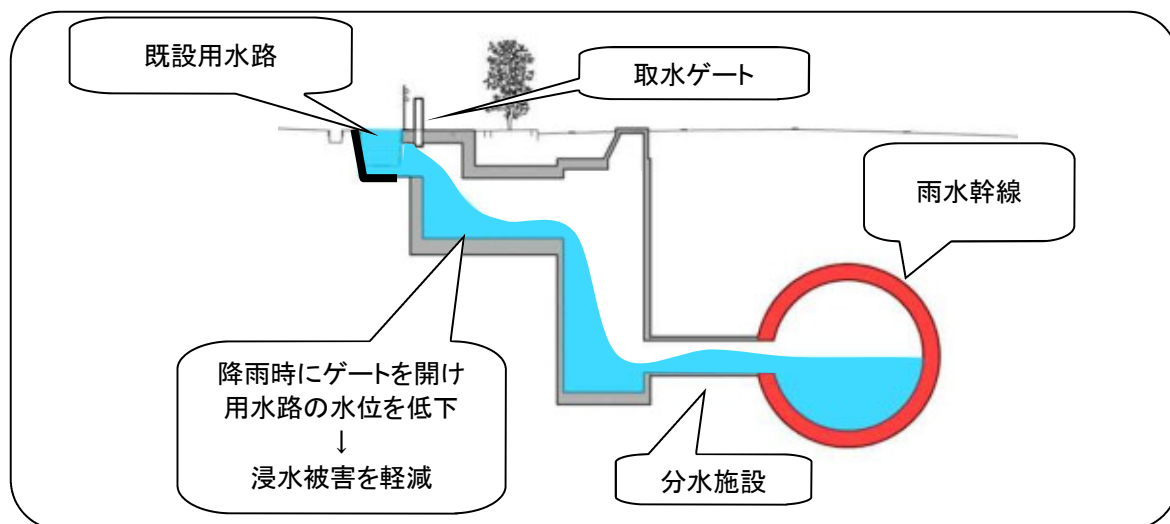


図3-3 ゲート操作による雨水排水のイメージ図

近年では、樋門などの操作を行う地元の操作員の高齢化、後継者不足などの問題も顕在化しています。以下に、農業用水路に設置された樋門等の下水道雨水排水施設の状況を示します。（表3-2、図3-4）

表3-2 地元に操作依頼している下水道雨水排水施設（樋門・ゲート等）

関連ポンプ場	施設数
当新田ポンプ場関連	7
平田ポンプ場関連	1
万成ポンプ場関連	6
笹ヶ瀬ポンプ場関連	2
巖井ポンプ場関連	1
平井排水センター関連	3
浦安ポンプ場関連	3
妹尾ポンプ場関連	2
瀬戸ポンプ場関連	4
計	29

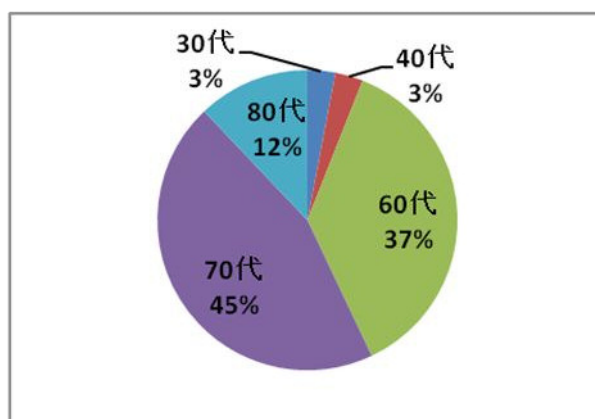


図3-4 表3-2に示す施設の操作員年齢構成

## 3-4 雨水流出抑制

都市計画法第32条に基づく開発許可を申請しようとする者に対し、雨水流出抑制施設の設置について協力をお願いしてきましたが、過去16年間に協力が得られた物件は1,004件中13件と、約1%にとどまっています。

国や、県、市等の公共施設についても、過去3年間で雨水流出抑制施設を設置した施設は約25%にとどまっています。

また、個人住宅に対しては、公共下水道への切替えに伴い不要となった浄化槽について、これを雨水貯留槽へ改造する場合に補助を行っていましたが、その利用者は少数にとどまっています。

条例では浸水対策における、市、市民及び事業者の責務を明らかにしたうえで、一定規模以上の開発行為等に際して、雨水の一時貯留など流出抑制に係る雨水排水計画の市への協議を義務付けるとともに支援制度も創設しました。

### (参考) 岡山市浸水対策の推進に関する条例

浸水対策の推進に関する基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、浸水対策を推進するための基本となる事項を定めることにより、浸水対策を総合的かつ計画的に推進し、市民のみならず安全で安心して暮らすことのできる岡山市を実現することを目的とします。【第1条】

#### 第1章 細則

【第2条～6条】

基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにして、協働して浸水対策を推進します。

市、市民及び事業者が浸水対策にかかる理念を共有することと併せて、協働して推進対策に取り組むためにそれぞれの主体が果たすべき役割を明確にしました。

#### 第2章 浸水対策の基本的な施策等

【第7条～13条】

基本計画を策定し、浸水対策を総合的かつ計画的に推進します。

浸水対策の方向性を定める基本計画を策定し、河川や下水道の整備、公共施設などへの雨水流出抑制施設の設置、農業用水路等の水位の事前調整、水防体制に関する普及啓発を図るなど、浸水対策を総合的かつ計画的に進めます。

#### 第3章 開発行為等における雨水排水計画の協議等

【第14条～18条】

一定規模以上の開発行為等に際して、雨水の一時貯留など流出抑制にかかる雨水排水計画の協議を義務化します。

雨水排水計画の協議と、これに基づく対策の実施によって、開発と浸水対策の両立を図ります。

#### 第4章 市民及び事業者への支援

【第19条】

市民や事業者が行う雨水流出抑制の取り組みへの財政支援等を行います。

市民や事業者が、積極的に浸水対策に取り組めるよう雨水流出抑制施設の設置に対する技術的な助言や財政支援を行います。

#### 第5章 岡山市浸水対策推進協議会

【第20条～第23条】

岡山市浸水対策推進協議会を設置します。

浸水対策を効果的に進めるため、広く有識者等から意見をお聴きするための協議会を設置します。

### 3-5 自主防災組織の現状

岡山市における自主防災会や、自主防災組織の組織率は平成29年4月時点で63%となっており、県内で26位となっています。また、岡山県は全国でも40位と低くとどまっています。

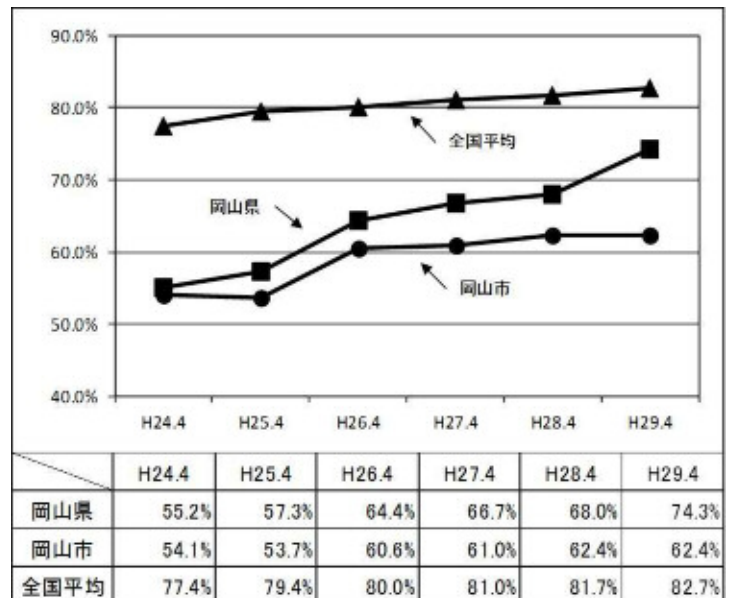
表3-3 自主防災組織の組織率

<市町村>	自主防災組織率		県内順位
	H24.4	H29.4	
岡山市	54.1%	63.4%	26位
倉敷市	38.9%	72.1%	22位
津山市	44.2%	100.0%	1位
玉野市	45.5%	70.2%	24位
笠岡市	96.8%	99.1%	12位
井原市	100.0%	100.0%	1位
総社市	33.8%	96.8%	13位
高梁市	70.1%	80.3%	19位
新見市	67.1%	70.7%	23位
備前市	66.2%	86.4%	16位
瀬戸内市	63.0%	74.7%	21位
赤磐市	100.0%	100.0%	1位
真庭市	78.0%	57.6%	27位
美作市	68.2%	77.7%	20位
浅口市	52.5%	64.6%	25位
和気町	79.0%	95.5%	14位
早島町	86.5%	91.5%	15位
里庄町	100.0%	100.0%	1位
矢掛町	55.5%	82.5%	17位
新庄村	100.0%	100.0%	1位
鏡野町	55.7%	81.1%	18位
勝央町	98.1%	100.0%	1位
奈義町	86.4%	100.0%	1位
西粟倉村	100.0%	100.0%	1位
久米南町	99.9%	100.0%	1位
美咲町	58.3%	100.0%	1位
吉備中央町	98.9%	100.0%	1位
岡山県	55.2%	74.3%	—

【出典：岡山県ホームページ】

<近県>	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4
鳥取県	70.1%	71.2%	78.8%	80.4%	82.0%	82.9%
島根県	59.5%	59.2%	64.3%	66.7%	71.1%	73.3%
岡山県	55.2%	57.3%	64.4%	66.7%	68.0%	74.3%
広島県	80.0%	85.3%	84.8%	88.6%	90.7%	91.7%
山口県	85.0%	88.4%	92.4%	93.6%	97.0%	97.0%
徳島県	90.1%	91.9%	92.7%	93.2%	93.4%	93.7%
香川県	72.6%	76.0%	80.8%	92.5%	93.3%	93.9%
愛媛県	88.9%	89.7%	90.6%	91.0%	93.0%	93.4%
高知県	74.4%	79.1%	90.1%	92.5%	93.8%	94.7%
全国平均	77.4%	79.4%	80.0%	81.0%	81.7%	82.7%
全国順位	43位	43位	41位	41位	42位	40位

【出典：消防庁「消防白書」  
(平成24年度版～平成29年度版)】



自主防災組織とは、住民の隣保共同の精神に基づく自発的な防災組織のこと

<算出方法>

自主防災組織がその活動範囲としている地域の世帯数÷全世帯数×100

## 3-6 浸水対策の方向性

3-1～3-5を踏まえると、岡山市が浸水対策を進めるにあたり、課題解決に向けて次のように取り組んでいく必要があると考えられます。

- \* 着実なハード整備の推進
- \* 農業関係者の理解・協力を得たうえで、農業用水路・ため池や児島湖の事前水位調整等の継続と拡充
- \* 樋門やゲート操作の遠隔化等による適切な施設管理の継続
- \* 公共施設における雨水流出抑制施設設置の推進
- \* 岡山市浸水対策の推進に関する条例の的確な運用による民間の雨水流出抑制施設設置の推進
- \* 市民への広報や意識啓発と、それによる自助・共助の推進や雨水貯留タンク設置の推進